



平成20年4月30日

各位

会社名 株式会社 資 生 堂
代表者名 代表取締役社長 前田 新造
(コード番号4911 東証第1部)
問合せ先 財務部IR室長 齊藤 幸博
(TEL. 03-3572-5111)

投資単位の引下げに関する考え方および方針について

1. 投資単位の引下げに関する考え方

株式市場において適正な株価が形成されるためには、株式の十分な流動性と幅広い投資家層の取引参加が必要であり、投資単位の引下げは、株式の流動性を高め投資家層の拡大を図るための有効な手法と認識しております。現在の当社株式の株価、出来高、株主数、株主構成等をみますと、当社株式の流動性を特段に妨げているとの実情にないと考えています。

2. 投資単位の引下げに関する方針

投資単位の引下げについては、実施に伴いコストの増加もあることから、業績・株価動向、株主数・株主構成などを勘案し、投資家の皆様から時宜を得たものと評価されるタイミングを考慮する必要があります。現在、そのタイミングとして、実施に伴うコスト増の軽減が見込まれる株券電子化後、全国証券取引所の「売買単位の集約に向けた行動計画」に従い、平成21年4月以降のしかるべき時期に、投資単位を現在の1,000株から100株に引き下げることを検討しています。

以 上